

令和6年度 津高生きもの調査隊一日応寺で探すフィールドサイン--報告

(報告 山田 勝)

◇ 2024年12月08日 (日), AM9:30~11:50 (12:00解散) 天候: 晴れ

気温: 5.5°C (AM9:20)

◇ 岡山市北区日応寺 : 日応寺自然の森スポーツ広場~岡山市少年自然の家フィールド往復

◇ 講師 山田 勝

◇確認したフィールドサイン

- 糞 : テン・イタチ (SP) ・ヤモリ類
- 食痕: ハモグリバエ又はハモグリガの幼虫 (ヒサカキへ: 俗称: 字書き虫)
- 足跡: ニホンイノシシ: 掘り起こしも
- ぬけがら: アブラゼミの幼虫が地表へ出た穴・クスサンの繭
- 羽根や骨: 発見できず
- 巣 : カワセミ・ツバメ (トイレ棟) ・ケブカコシブトハナバチ (土壁に穴)
- その他: コウベモグラの坑道・オオカマキリの卵鞘・ハラビロカマキリの卵鞘
ヤマナメクジ・ハラビロカマキリ・ノウタケ・カワラタケの仲間・ムベの果実
ヤブムラサキの果実・コバノガマズミ酒 (ピンク色)



: ツバメの巣 (トイレ棟へ)



: コバノガマズミの樹へハラビロカマキリの卵鞘



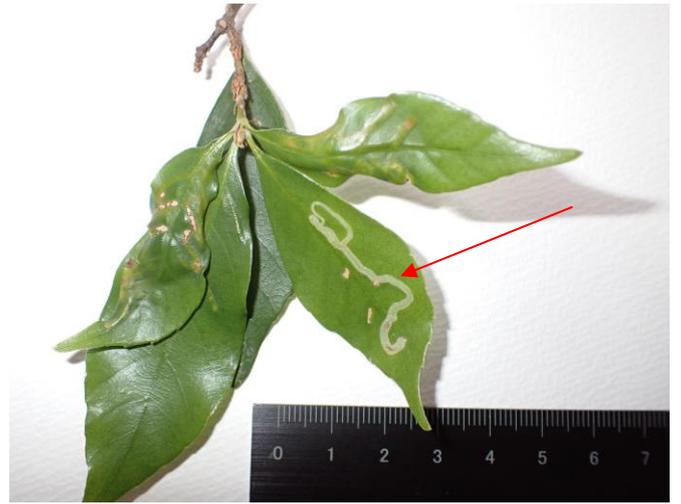
: テンの糞



: カワセミの巣穴



：シロスジカミキリの産卵痕



：ハモグリバエ又はハモグリガの幼虫の食痕
：アラカシの葉へ



：冬眠中のヤマナメクジ



：ニホンイノシシの掘起こし跡



：セミの仲間の幼虫が出た穴



：ケブカコシブトハナバチの巣（土壁に）



：ヤモリ類の糞（白い部分は尿石）



：クスサンの繭（俗称＝すかし俵）



：観察路の一部



：イロハモミジの紅葉